



高花平だより

2017. 5. 29
第 4 号

四日市市立高花平小学校

朝の読書と昼のスタディータイム

上の写真が「朝の読書」の様子、下が「スタディータイム」の様子です。「朝の読書」は1時間目が始まる前の10分間に毎日取り組んでいます。「スタディータイム」は、掃除が終わって5時間目が始まる前の10分間に、水曜日を除いて毎日取り組んでいます。どちらも、子どもたち一人一人が真剣に読書や勉強に向き合っている様子やピンと張りつめた雰囲気が伝わってきます。読書は言語能力を高めるとともに心の栄養になります。また、学校生活の始まりを落ち着いた雰囲気ですたートできます。「スタディータイム」は計算や漢字などにコツコツ取り組むことで、学力の基礎的な部分を鍛えるとともに集中力を養うことにもつながります。「継続は力なり」です。



がいこくごかつどう 外国語活動



「ホウエン イズ ユア バースデー? (誕生日はいつですか)」「マイ バースデー イズ ジュライ フォー。(7月4日です)」

誕生日の尋ね方や答え方に慣れ親しむことをねらいにした6年生の外国語活動の授業です。担任の先生と英語指導員のリチャード先生が協働して授業を行っていました。最初はリチャード先生と子どもたちとの会話、次にカレンダービンゴゲームをしながら、友だち同士でどんどん相手を変えて会話の練習をしていました。参観していた私にも話しかけてきた子がいました。「マーチ。」と答えると「えっ、ぼくといっしょや。」と驚いていました。現在、5・6年生は、この外国語活動を週1時間、年間では35時間行っていますが、2020年度本格実施となる新学習指導要領の下では、さらに週1時間分授業時数が増え、「英語」の教科として授業を行うこととなります。また、現在5・6年生を対象に行っている「外国語活動」は3・4年生から始められます。

ふれあいコンサート

5月20日(土)、体育館にて琴と尺八による演奏会がありました。「春の海」「さくらさくら」など古くからある日本の歌とともに、「翼をください」「夢をかなえてドラえもん」「ビリーブ」などの現代的な曲の演奏もありました。楽器紹介では、「尺八は何からできているか知っていますか?」「琴はある動物の形に似ているのですが、それはなんだと思いますか?」といった興味をひく話題から入って、「尺八は自然に生えている竹を切って節を抜いて、前に4つ、後ろに1つ穴をあけただけで音が出る楽器です」「琴は竜に似ています。頭はどっちだと思えますか。頭に当たる部分を竜頭、反対側を竜尾といいます。弦は13本あります」等々を教えてくださいました。

普段は耳にする機会が少ない和楽器の音色に子どもたちは静かに聴き入っていました。

